


| | |
|------|--------------|
| 日付 | 令和7年2月18日(火) |
| 担当 | 総合政策課 |
| 電話番号 | 0742-34-4786 |

奈良市×大阪・関西万博連携シンポジウム

「奈良会議 2025」を3月16日(日)に開催!



『すでに存在する未来』
古都・奈良。
悠久の歴史を紡いできたこの地には、先人たちが遺した叡智が深く根付いている。そこへ最先端のテクノロジーが融合したとき、過去と未来の境界は一気に溶け合い、新たな視界が立ち上がる。その境界の先にある「すでに存在する未来」を、私たちはどうたぐりよせるのか。

2025年大阪・関西万博(以下「万博」という。)は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、「-People's Living Lab- 未来社会の実験場」をコンセプトに掲げ、未来社会の「共創」を推進するプラットフォームとなっていると考えています。

奈良市(以下「市」という。)では、万博の機会を活用し、これからも続いていく未来社会の在り方を議論するシンポジウムを令和4年度から開催してまいりました。

今年度は、テクノロジーと未来変革が進む現代・未来社会、そして日本、奈良を改めて捉え直し、地域ひいては日本の勝ち筋を見出すことを目的に、各界で活躍されている有識者が登壇される基調講演やパネルディスカッションを企画いたしました。

本シンポジウムを一層意義のあるものするため、市内外問わず幅広いセクターより参加者を募り、奈良の発展に強い関心と熱い想いを持つ方々との議論やつながりを交え、本事業の開催趣旨である今後の奈良や日本の勝ち筋を見出していきたいと考えております。

つきましては、各報道機関様におかれましては、是非とも周知にご協力いただきたいとともに、当日のご出席・取材(別紙「取材申込書」参照)につきましてもお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

1、シンポジウム概要

- **日時:令和7年3月16日(日)13時~19時(12時30分開場)**
- 会場:奈良県コンベンションセンター2階(近鉄新大宮駅徒歩約10分)
- **参加費:無料(ただし、懇親会は除く。【一般参加:3,000円/人】)**
- 対象:居住地や年齢を問わず、どなたでも参加可
- **申込:**以下のURL 又は右記QRコードより、**3月10日(月)17時まで**に申込
<https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/4/223259.html>



2、タイムスケジュール

| Time | LAP | プログラム | 概要 | |
|--------------------|-------|--|--|--|
| 12:30 | 30' | 開場 | ・受付開始 | |
| オープニング ディスカッション | 13:00 | オープニング 【会場:203・204】 | ・奈良市長 仲川げんよりご挨拶 ・林 篤志氏((株)paramita 共同代表、(一社)Next Commons Lab ファウンダー)よりイントロダクション | |
| | 13:10 | 〈スピーチ・ディスカッション共通テーマ〉 すでに存在する未来をどうたぐりよせるのか | ・伊藤 穰一氏(千葉工業大学学長)よりご講演 | |
| | 13:25 | オープニングスピーチ1~3 | ・家入 一真氏((株)CAMPFIRE ファウンダー会長)よりご講演 | |
| | 13:40 | オープニングスピーチ1~3 【会場:203・204】 | ・松田 法子氏(京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授)よりご講演 | |
| | 13:55 | 転換 | | |
| 14:00 | 60' | オープニングディスカッション 【会場:203・204】 | ・オープニングスピーチ講演者によるトークセッション -モデレーター 林 篤志氏 (株)paramita 共同代表、(一社)Next Commons Lab ファウンダー -スピーカー 家入 一真氏 (株)CAMPFIRE ファウンダー会長 伊藤 穰一氏 千葉工業大学学長 仲川 げん 奈良市長 松田 法子氏 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授 | |
| 15:00 | 15' | 休憩・転換 | ・メイン会場は舞台転換 | |
| パネル ディスカッション | 15:15 | 各 80' | テーマ1【社会OS】 国家でもなく、従来型の民主主義でもない、自治の未来 【会場:203・204】 | ・パネリストによるトークセッション -モデレーター 増村 江利子氏 Webマガジン「greenz.jp」編集長/(同)森に還す 共同代表 -スピーカー 家入 一真氏 (株)CAMPFIRE ファウンダー会長 関 治之氏 (一社)コード・フォー・ジャパン 代表理事 林 篤志氏 (株)paramita 共同代表/(一社)Next Commons Lab ファウンダー |
| | | | テーマ2【経済・産業】 低成長日本における好循環経済のデザイン 【会場:205】 | ・パネリストによるトークセッション -モデレーター 中室 牧子氏 慶應義塾大学総合政策学部 教授 -スピーカー 塩崎 一裕氏 奈良先端科学技術大学院大学学長 出口 哲也氏 ティライト(株) 代表取締役 藤堂 高明氏 cars(株) 代表取締役執行役員 社長 兼 CEO |
| | | | テーマ3【文化発信】 日本文化の方法で21世紀世界に貢献するために 【会場:206】 | ・パネリストによるトークセッション -モデレーター 安藤 昭子氏 (株)編集工学研究所 代表取締役社長 -スピーカー 高津 尚志氏 IMD北東アジア代表 館鼻 則孝氏 現代美術家 内藤 栄氏 大阪市立美術館館長/奈良国立博物館名誉館員 |
| 16:35 | 15' | 休憩・移動 | ・メイン会場は舞台転換 | |
| クロー ージング | 16:50 | 30' | クローージング・閉会 【会場:203・204】 | ・クローージング 3つのパネルディスカッションのモデレーターが一堂に会し。 議論の共有及び今後の社会・奈良に期待することを発信。 -モデレーター 仲川 げん 奈良市長 -スピーカー 増村 江利子氏 Webマガジン「greenz.jp」編集長/(同)森に還す 共同代表 中室 牧子氏 慶應義塾大学総合政策学部 教授 安藤 昭子氏 (株)編集工学研究所 代表取締役社長 |
| | 17:20 | 30' | 移動・退出 | ・懇親会の受付開始 |
| 17:50 | 70' | 懇親会【会場:201】 | ・ネットワーキングを育む仕組み(立食形式) | |

3、登壇者一覧

○オープニングスピーチならびにオープニングディスカッション

テーマ～すでに存在する未来をどうたぐりよせるのか～

○オープニングスピーチ



撮影:森清

伊藤 穰一氏

学校法人千葉工業大学 学長。

デジタルアーキテクト、ベンチャーキャピタリスト、起業家、作家、学者。教育、民主主義とガバナンス、学問と科学のシステムの再設計など様々な課題解決に向けて活動中。米マサチューセッツ工科大学 (MIT) メディアラボ所長、ソニー、ニューヨークタイムズ取締役など歴任。株式会社デジタルガレージ取締役。デジタル庁デジタル社会構想会議構成員。主な近著は『AI Driven AI で深化する人類の働き方』等。慶應義塾大学での博士論文を基にした書籍「変革論」を執筆中。

家入 一真氏



株式会社 CAMPFIRE ファウンダー会長。

2003 年株式会社 paperboy&co. (現 GMO ペパボ) 創業、2008 年 JASDAQ 市場最年少(当時)で上場を経て、2011 年株式会社 CAMPFIRE 創業。2012 年 BASE 株式会社を共同創業、東証マザーズ(現グロース)上場。2018 年ベンチャーキャピタル「NOW」創業。その他、京都芸術大学の客員教授や N 高起業部の顧問等を務める。

松田 法子氏



京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授。

専門は建築史・都市史。住まい・集落・まち・都市における、人と大地の関係に関心をもつ。近年は「領域史」や「都市と大地」、「汀の人文史」というテーマに基づくフィールドワークや、ヒトによる生存環境構築の長期的歴史とそのモードを探る「生環境構築史」に取り組む。

単著に『絵はがきの別府』、共編著に『危機と都市』、『戦後空間史』、共著に『変容する都市のゆくえ』、『渋谷の秘密』、『世界建築史 15 講』など。

○オープニングディスカッション

上記オープニングスピーカー3名ほか



林 篤志氏 ※モデレーター

株式会社 paramita 共同代表

一般社団法人 Next Commons Lab ファウンダー。

2016 年に Next Commons Lab を創業し、ポスト資本主義社会を具現化するための社会 OS「Local Coop」をつくっている。自治体・企業・起業家など多様な領域と協業しながら、地方から新たな社会システムの構築を目指す。

仲川 げん



奈良市長(現在4期目)。

立命館大学卒業後、帝国石油株式会社を経て帰郷。地元奈良での中間支援センター立ち上げに携わる。2009年に当時全国で2番目に若い33歳で初当選。2011年に「日本を立て直す100人」(AERA)に選出。2015年に中核市長会会長就任(～2017年)。2022年には年少人口の転入超過数及び「共働き子育てしやすい街ランキング」で関西1位となる。

○パネルディスカッション

テーマ①【社会OS】国家でもなく、従来型の民主主義でもなく、自治の未来



増村 江利子氏 ※モデレーター

Web マガジン「greenz.jp」編集長/合同会社森に還す 共同代表。

国立音楽大学卒業後、Web 制作、広告制作、編集を経て、Web マガジン「greenz.jp」編集長に。竹でつくったトイレ用ペーパーの定期便「BambooRoll」を扱うおかえり(株)の共同創業者、「竹でつくった猫砂」を扱う(合)森に還すの共同代表。2017年に東京から長野県諏訪郡に移住。『アトム・ミニマリスト』に収録。『Forbes JAPAN 地球で輝く女性 100人』に選出(2018年)。



家入 一真氏

株式会社 CAMPFIRE ファウンダー会長。

2003年株式会社 paperboy&co.(現 GMO ペパボ)創業、2008年 JASDAQ 市場最年少(当時)で上場を経て、2011年株式会社 CAMPFIRE 創業。2012年 BASE 株式会社を共同創業、東証マザーズ(現グロス)上場。2018年ベンチャーキャピタル「NOW」創業。その他、京都芸術大学の客員教授やN高起業部の顧問等を務める。



関 治之氏

一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事。

「オープンにつながり、ワクワクする仕組みをつくる」をテーマに、会社の枠を超えて様々なコミュニティで積極的に活動する。東日本震災時に情報ボランティア活動を行なったことをきっかけに、住民コミュニティとテクノロジーの力で地域課題を解決することの可能性を感じ、2013年に一般社団法人コード・フォー・ジャパン社を設立。



林 篤志氏

株式会社 paramita 共同代表

一般社団法人 Next Commons Lab ファウンダー。

2016年にNext Commons Labを創業し、ポスト資本主義社会を具現化するための社会OS「Local Coop」をつくらせている。自治体・企業・起業家など多様な領域と協業しながら、地方から新たな社会システムの構築を目指す。

テーマ②【経済・産業】低成長の日本経済のこれからの勝ち筋とは。



中室 牧子氏 ※モデレーター

慶應義塾大学総合政策学部 教授。

慶應義塾大学卒業後、日本銀行等を経て現職。コロンビア大学にてMPA、Ph.D.取得。

専門は教育経済学。国の産業構造審議会、規制改革推進会議等で有識者委員を勤める。

著書はビジネス書大賞 2016 準大賞を受賞し発行部数 30 万部を突破した『『学力』の経済学』、週刊ダイヤモンド 2017 年ベスト経済学書第 1 位の『原因と結果』の経済学』など。2021 年 9 月からデジタル庁のシニアエキスパート。



塩崎 一裕氏

奈良先端科学技術大学院大学 学長。

京都大学理学部卒業、1992年に同大学院理学研究科で博士号を取得後、渡米。スクリップス研究所研究員を経て、カリフォルニア大学デービス校微生物学科で Assistant Prof., Associate Prof., Professor として研究室を主宰。2010年に帰国して奈良先端大教授に就任し、学長補佐、バイオサイエンス副領域長などを歴任。2021年4月より同大学長。専門分野は分子細胞生物学。



出口 哲也氏

ディライト株式会社 代表取締役。

1978年奈良県生まれ。2001年関西外国語大学国際言語学部卒業後、田村駒(株)入社。

2006年ディライト(株)に入社。プライダル事業部や営業本部長を経て、2013年代表取締役役に就任。プライダル、ホテル、飲食の店舗やコンサルティング事業を新たに展開。

2022年、「世界で最も幸せを創造する企業」をビジョンに掲げ、コーポレートブランド「DLIGHT LIFE & HOTELS」を立ち上げる。店舗を通し地域コミュニティを創り、革新的なライフスタイルを提供することを目指す。



藤堂 高明氏

cars 株式会社代表取締役執行役員 社長 兼 CEO。

奈良県出身。大学卒業後大手通信会社に就職し東京で勤務。

2003年3月に自動車整備業界へと転職。2007年代表取締役役に就任。毎年7千万の赤字で廃業寸前であった事業を様々な取組みで再建。以降も、大阪や東京・埼玉・千葉などで40件以上のM&Aや新規出店により事業を拡大し14年で年商30倍を実現させた。

現在は渋谷で50人のメンバーと共にグローバルカーライフテックサービス cars の開発提供を行っている。



安藤 昭子氏 ※モデレーター

株式会社編集工学研究所代表取締役社長。
 出版社で書籍編集や事業開発に従事した後、「イシス編集学校」にて松岡正剛に師事、「編集」の意味を大幅に捉え直す。これがきっかけとなり、2010年に編集工学研究所に入社。2021年に代表取締役社長に就任。企業の人材開発や理念・ビジョン設計、教育プログラム開発や大学図書館改編など、多領域にわたる課題解決や価値創造の方法を「編集工学」を用いて開発・支援している。次世代リーダー育成塾「Hyper-Editing Platform[AIDA]」プロデューサー、丸善雄松堂株式会社取締役。著書に『問いの編集力』『才能をひらく編集工学』（共にディスカヴァー・トゥエンティワン）、共著に『探究型読書』（クロスメディア・パブリッシング）など。



高津 尚志氏

IMD 北東アジア代表。
 2010年より、スイスのビジネススクール・IMDの日本事業責任者として、日本企業数十社のグローバル幹部教育、後継者育成や事業変革の支援に関与してきた。組織と個人のウェルビーイング推進に日本文化が果たせる役割にも着目。禅・生け花・武道などの専門家と連携、新たな学びのセッションを企画、世界のビジネスリーダーに提供している。IMD参画前は、日本興業銀行、ポストン コンサルティング グループ、リクルートで、一貫して日本企業のグローバル展開支援に従事。桑沢デザイン研究所や INSEAD でも学んだ。奈良と関西には、学生時代に外務省外郭団体の通訳ガイド（英語・仏語）として、諸外国の要人に同行、数十回訪ねた。以来訪問を重ねて来た。



館鼻 則孝氏

現代美術家。
 1985年、東京都生まれ。東京藝術大学美術学部工芸科染織専攻卒。創作活動の概念として「Rethink」を掲げ、日本の伝統文化や伝統工芸技法を活用して現代の価値観を表現する作品を多数制作している。また、江戸時代の高下駄から着想を得て制作された代表作の《Heel-less Shoes》は、レディー・ガガに愛用されたことでも世界的に知られ、ニューヨークのメトロポリタン美術館などに永久収蔵されている。



内藤 栄氏

大阪市立美術館館長/奈良国立博物館名誉館員。
 昭和35年（1960）、埼玉県生まれ。筑波大学大学院博士課程芸術学研究科退学。博士（芸術学）。サントリー美術館に8年間勤務した後、奈良国立博物館に勤務。専門は仏教工芸史で、特に舍利信仰の美術と正倉院宝物を研究中。現在、大阪市立美術館館長。著書に『舍利荘嚴美術の研究』（平成22年〔2010〕、青史出版）、『日本の美術539号 舍利と宝珠』（平成23年〔2011〕、ぎょうせい）がある。

〇クロージング

仲川げん（※モデレーター）、増村江利子氏、中室牧子氏、安藤昭子氏

◎全体司会 田中 愛理氏 フリーアナウンサー

4、2025年大阪・関西万博について（開催概要…<https://www.expo2025.or.jp/overview/>）

- 名称 2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）
- 会場 大阪 夢（ゆめ）洲（しま）（大阪市臨海部）
- 開催期間 令和7年4月13日（日）～10月13日（月）184日間
- テーマ いのち輝く未来社会のデザイン（Designing Future Society for Our Lives）
- サブテーマ

Saving Lives（いのちを救う）/Empowering Lives（いのちに力を与える）/Connecting Lives（いのちをつなぐ）

- コンセプト People's Living Lab（未来社会の実験場）
 - ①展示をみるだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」（co-create）。
 - ②万博開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。
 - ③人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場に。

以上